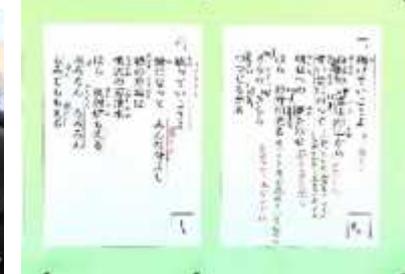


## 実績報告書

静岡県 伊豆の国市立韮山南小学校	実施学年： 6年 児童数： 53人（2学級） 実施教科等： 総合的な学習の時間 実施時間数： 4時間
実施／参照プログラム	No.10 校歌の風景を見つめてみよう No.11 地域景観プランナーになろう



### ●学習のねらい・学習活動・準備品・実施場所

学習のねらい	● 史跡を巡り、歴史のまち韮山について知った子供が、故郷の将来像を考える活動を通して、故郷の自然や歴史、産業を守り続けていきたいという思いをもつ。
学習活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【つかむ段階】 2040年の故郷はどのようになっていたらよいですか。今まで総合的な学習の時間で学んできたことから、故郷の未来像を考える。</li> <li>● 【深める段階】 スライドを活用して、故郷の未来像をまとめましょう。都市計画を進めていくためにはどのようなことが大切なのか考える。</li> <li>● 【見つめる段階】 中間発表で助言をもらい、スライド発表の準備をしよう。学級内のグループで発表をしたり、助言し合ったりする。</li> <li>● 【つなげる段階】 学年で発表をしよう。発表を通して、様々な視点から景観やまちづくりについて考える。</li> </ul>
準備品	<ul style="list-style-type: none"> <li>● タブレット PC</li> <li>● 丸シール</li> </ul> <p>スライドにまとめてプリントアウト 中間発表の際に、自分のグループと同じ提案にシールを貼った。</p>
実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の史跡</li> <li>● 教室</li> </ul>

●学習の流れ

	場所	概要	活動記録	児童の反応
1 時 間	教室	<p>2040年の故郷はどのようになっていたらよいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業者があらかじめ、まちづくりにはどのようなことが必要であるかアンケートを行い、グループを決める。</li> <li>● 授業者が用意した地域の写真を「改善が必要」と「残していくべき」に分けながら、地域の景観とまちづくりについて着目する。</li> <li>● 2040年の故郷はどのようになっていたらよいのか提案テーマに沿って考える。</li> <li>● 授業者は発表までの流れ（単元の流れ）を伝える。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2040年は17年後だから28、29歳になっている。大人になっている時の葦山はより多くの方が住みやすいまちになっているといいな。</li> <li>○ 快適なまちになっているといいなと思うけれど、葦山は自然も豊かで史跡も多いから、昔ながらのまち並みも残っているといいな。</li> <li>○ 修学旅行で行った、鎌倉や東京のようなまちになるといいな。</li> <li>○ 「農業」をテーマにして考えよう。</li> </ul>
2 時 間	教室	<p>総合的な学習の時間で今まで学習してきたことから、故郷の未来像を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 下学年で学習してきた総合的な学習の時間を想起する。</li> <li>● 各グループの提案テーマに沿って、スライドを作成するためのアイデアを共有する。</li> </ul> <p>スライドを活用して、故郷の未来像をまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 各グループで提案テーマに沿ったスライドを作成する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3年生では、イチゴのことを学習したね。未来の葦山のイチゴはどうなっているのだろうか。</li> <li>○ 4年生では、福祉のことを学習した。葦山は全ての人にとって生活しやすい場所になってほしいな。</li> <li>○ 5年生では、SDGsの学習をしたよ。自然や史跡を守りながら葦山が発展しているのかな。</li> <li>○ 6年生では葦山の代表的な史跡のことを学習した。史跡を残すために働いている人々がいることを知ったから、私も歴史を知って語り継いでいきたい。</li> <li>○ 故郷葦山には他にどのようなよさや課題があるのだろうか。</li> </ul>

	場所	概要	活動記録	児童の反応
1 時 間	教室	<p>中間発表を行い、得たアドバイスからグループで考えた故郷の未来像を考え直そう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 中間発表でアドバイスをもらおう。</li> <li>● 聞き手は自分たちのグループの提案と同様の提案にシールを付ける。</li> <li>● どのアドバイスを自分たちのグループの提案にいかすか考える。シールが少なかったグループや多かったグループの視点から自分たちの提案を考え直す。</li> <li>● 自分たちのグループの提案をアドバイスから見直す。</li> </ul>	  	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 農業が活発になる街づくりのために、自分たちが考えたこと以外にどんな考えがあるかな。</li> <li>○ 道路や交通を整備した街になるためには、電線や看板以外にも、信号機や歩道の整備も必要ではないかな。</li> <li>○ 葦山の史跡を美しく残していくためには、建物の建て方が大切になってくるな。</li> <li>○ 他のグループの発表を聞いて、自分のグループの発表に取り入れられるところを見付けた。</li> <li>○ 写真を大きく映して、未来像が分かりやすいように説明を加えるようにしよう。</li> </ul>
1 時 間		<p>発表をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● スライド発表で自分たちの提案を聞いてもらおう。</li> <li>● 聞き手は提案がよかったグループにシールを貼る。</li> </ul> 		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 故郷のまちがより好きになった。</li> <li>○ 現在のまちづくりがどのような意味をもって行われているのかが分かった。</li> <li>○ 2040年になってもこのまちに住み続けていきたい。その時には自分たちがまちづくりを行う立場として活動したい。</li> </ul>

●**児童の作品** (写真や図にはキャプション (説明) を添えてください。)

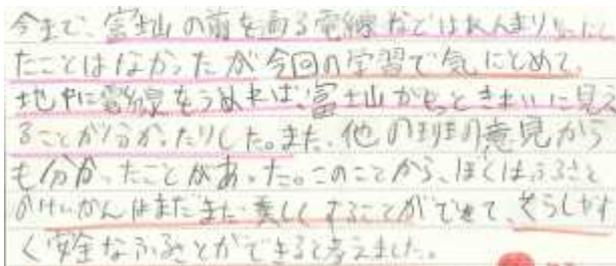
・グループで考えたテーマに沿った発表物



・発表後の掲示物



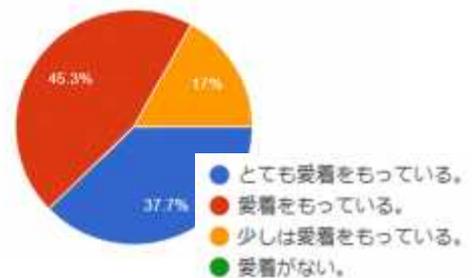
・単元終了後の児童コメント (一部抜粋)



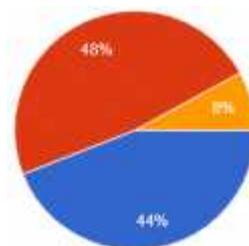
・単元前後のアンケート比較

あなたは「ふるさと」である富士山に愛着をもっていますか？  
53件の回答

単元前



単元後



・「校歌の風景を見つめてみよう」の掲示物



●**先生の声**

【実施にあたり工夫した点・苦労した点】

- 個人でまとめ、発表することよりも、児童の実態に合わせてグループで考えをまとめ、発表するようにした。
- 発表時には、原稿を作らずに、各グループでまとめたスライドを A3 版に印刷して発表するようにした。
- 発表時には、ワールドカフェ形式で行い、意図をもってシールを貼るようにしたことによって、聞き手は目的をもって発表を聞くことができた。
- 画像提示の際に、どの画像をどのような意図をもって見せるのかに難しさを感じた。思いもよらぬところに児童の注意が向いてしまった。

【児童の反応】

- 総合的な学習の時間で学習してきた知識や他教科で得た様々な知識を使って、自由にまちづくりを景観という視点から考えることができ、児童は楽しそうに活動していた。
- 「校歌の風景を見つめてみよう」では、卒業式に歌う自校の校歌の意味や風景、歌詞に込められた思いを読み取ることができた。

【教師の変化】

- 各学年で学んできた総合的な学習の時間の内容を総括する学習内容となった。
- 見慣れた景色の中に景観まちづくり学習や他の学習に生かすことができるものを見付けることができた。

